

## 【島根県海岸保全基本計画検討委員会第1回】議事要旨

日 時：令和8年2月18日（水）13：30～15：30

場 所：サンラポーむらくも 瑞雲の間

出席者：河原委員長、黒岩委員（web参加）、井上委員、佐藤委員

- 議 事：(1) 島根県海岸保全基本計画検討委員会の設置  
(2) 気候変動を踏まえた海岸保全基本計画の変更に係るこれまでの検討状況等  
(3) 島根沿岸・隠岐沿岸海岸保全基本計画の変更（素案）  
(4) 今後の予定

### ■主な意見等

- 高潮対策のための必要高さのイメージ図では余裕高が示されているが、津波対策のための必要高さのイメージ図には余裕高の記載がないため、整合を図ること。（資料2：p.23、25）
- 示されている余裕高10cmは、地盤沈降のみを考慮して設定された値となっているが、気候変動による台風の影響等の不確実性に対する考え方についても明確にすべきではないか。  
（資料2：p.27、28）
- 環境については、砂浜が気候変動の影響を最も受けると考えられる。掲載する写真は、砂浜に係するシロチドリ等を追加するとよい。（資料3（島根沿岸）：p.28）
- 環境の観点から「ジオパーク」に関する記載を追加するとよい。（資料3（島根沿岸）：p.33）
- 観光客や海岸を利用する人が多い中で、災害時の避難場所となる施設等のハコモノを整備する際には、利用面と景観に配慮し海岸に親しめるような工夫を行うとよいのではないか。（資料2：p.34）
- 既存堤防等を活かした整備イメージ図について、海面上昇と波浪の強大化に対する記載となっている。砂浜の減少に対しても、砂浜保全の取組みがわかるような表現や図（人工リーフや養浜等）を追加した方がよい。（資料2：p.37）
- 気候変動により沖側の海底地形に変化が生じることも想定されるため注視が必要である。今回の基本計画改定は、気候変動や地盤沈降など不確実性が大きい内容に対するものであるため、最新の知見の収集やモニタリングに向けた取り組みを進めていただきたい。（資料2：p.37）

○一覧表に記載されている将来気候における高潮及び津波対策としての必要な高さについて、余裕高を含めていないということがわかりにくい。(資料2 : p. 39)

○気候変動による海面水位の上昇や砂浜の減少を見据え、海岸管理者だけではなく、背後地の利用や環境に関係する部署も含めた計画とすべきではないか。(全体)